

時と暦のよもやま話

～天文の専門家が語る「時」の歴史～



時は天文と深く関係しています。その関係は時代とともに変化しています。今回のサイエンスカフェでは、時の歴史をたどりながら、以下のようなお話を紹介します。

- ・古代エジプトで生まれた暦と時間のルーツ
- ・中世ヨーロッパの機械時計の誕生の謎
- ・日付の変わり目はいつ？の歴史
- ・兵庫県出石の時計・辰鼓楼の謎
- ・時の記念日の誕生と日本人の時間意識の変化

(後半は、いつものように気軽な質問タイムです)

■ゲスト: 井上 毅(いのうえ たけし)さん ツイッター@INOUE_Takeshi_

明石市立天文科学館館長。天文普及に携わり、「世界天文年 2009」日本委員会企画委員、金環日食限界線研究会代表、日本プラネタリウム協議会「プラネタリウム 100 周年記念事業」実行委員長などを務める。

山口大学時間学研究所客員教授。専門は、天文教育、時の文化史、プラネタリウムの歴史など。

著書に『時の記念日のおはなし』(明石市立天文科学館)、共著に『時間の日本史』(小学館)、『星空をつくる機械プラネタリウム 100 年史 (KADOKAWA)』。

2026 年 4 月 4 日 (土) 14:00～16:00

会場: ラスタホール 2F 多目的室2 (伊丹市立生涯学習センター)

参加費 800 円 (税込)・要事前予約・詳細は裏面をご覧ください

時間の単位っていつ、どうやって決まったのかな？
1日を24時間にした理由はなんだろう。

24 時間制だけでなく、30 時間制もあるってホント？

日付が変わるタイミングって、だれがいつ、どういう理由で夜中の24時って決めたのかな？そもそも昔は今と違ったの？

Q サイエンスカフェって？

A 喫茶店で先生を囲んでお茶を飲みながら、先生の研究の話をネタにワイワイお話しするのが元で、ヨーロッパで始まりしました。カフェ伊丹では、前半に先生のお話を伺い、後半 50 分を語らいタイムとして、気軽にいろんな質問をできる時間になっています。

Q 物理や化学なんて、高校の時にあきらめたんだけど・・・

A そういうあなたにこそ
おすすめてです。学校と違
って、覚える必要も、すべ
てを理解する必要もない
のです。参加して、あれ？
なんだかおもしろいかも
って興味を持っていただ
けたら大成功！
中高生も大歓迎！！！！

Q 知識がないので、質問するのは恥ずかしいなあ

A 知識より興味！何でも聞いちゃいましょう。そこから何かが生まれるかも。そうそう、自分が質問するより、他の方の質問を聞いているのが楽しいという方もおられます。その時は、どうぞ聞くことを楽しんでください。

■参加費：800円（税込）

■対象：中学生～大人

■定員：28人

■申 込：要事前申し込み ラスタホールへ。

申し込みサイトは下記です。電話・来館でも可。

https://www.lustrehall.com/lecture_category/lecture-course

申し込みサイトの二次元バーコード→→→

電話 072-781-8877



***ラストホールまでのルート

***ラスタホールまでのルート（住宅街の細目の道です。）

伊丹市立生涯学習センター
伊丹市南野 2-3-25(火曜日休館)

○主催：サイエンスカフェ伊丹

○共催：公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団/ラストホール、伊丹市教育委員会

○協力：神戸大学サイエンスショップ

LINE 公式アカウント はじめました！

サイエンスカフェ伊丹の情報を中心に配信します。
LINE からサイエンスカフェの申し込みサイトへも行けます。
友だち登録よろしくお願いします。

